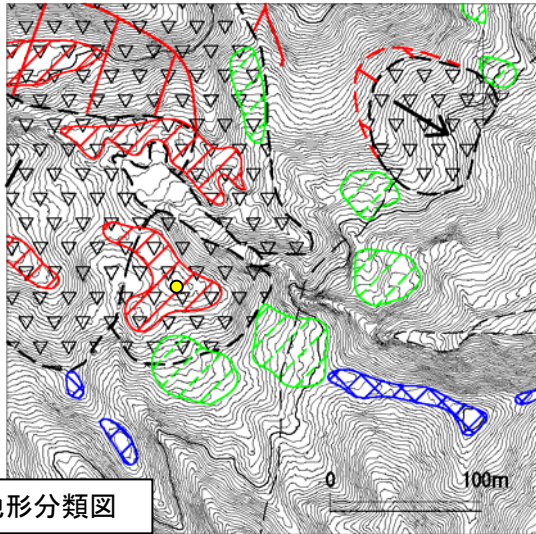
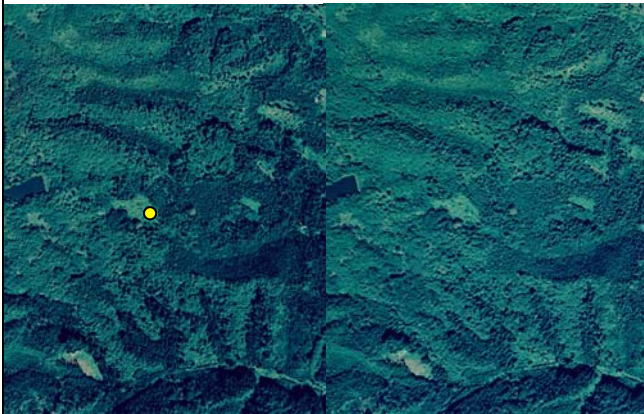
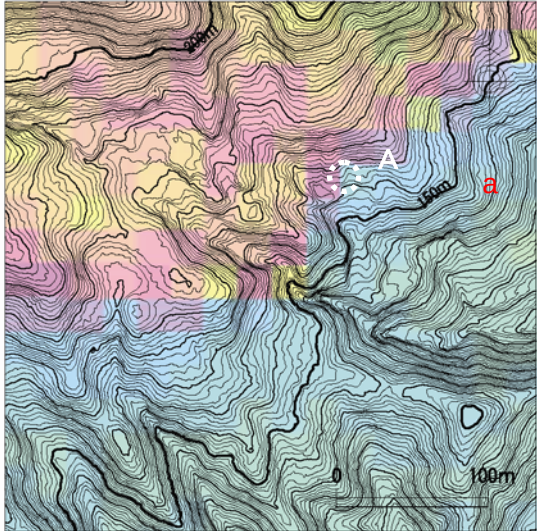
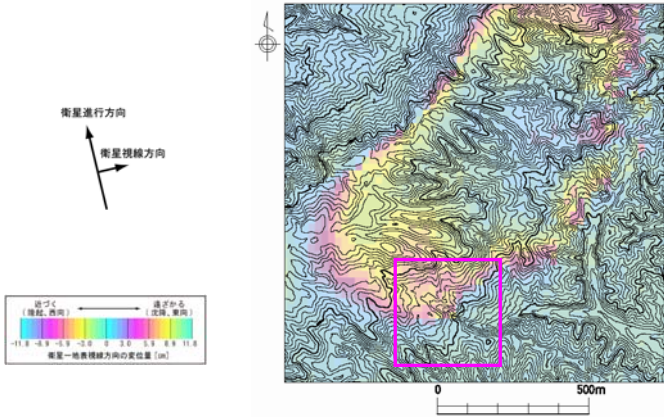
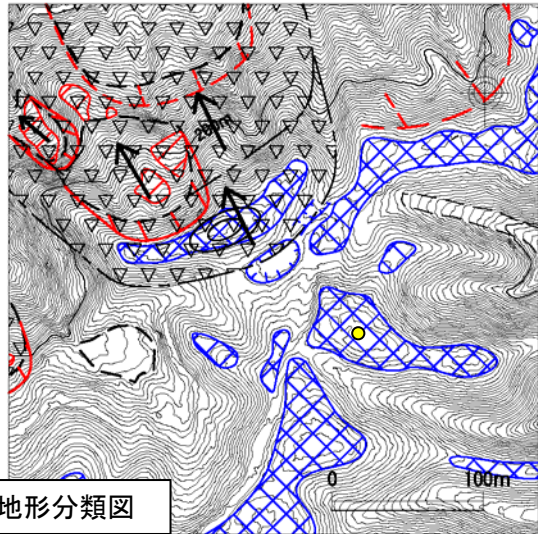
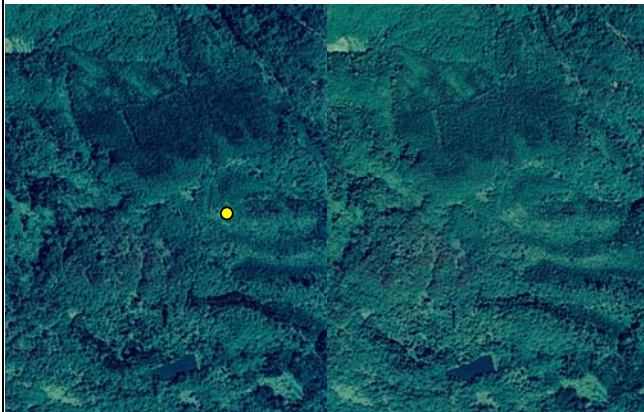
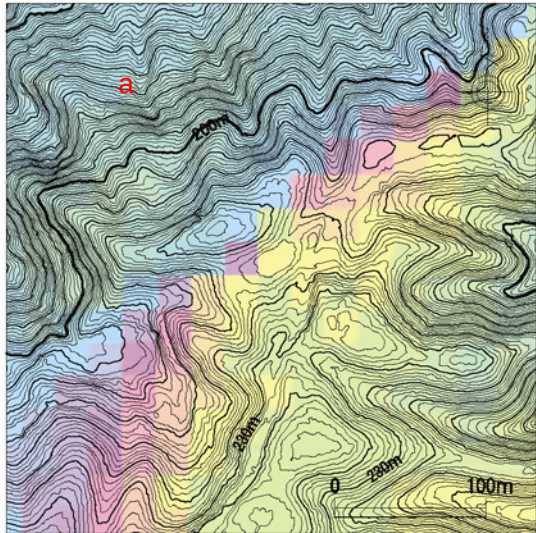
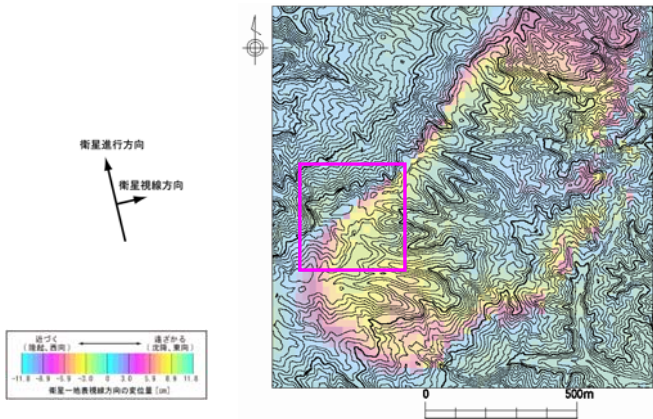


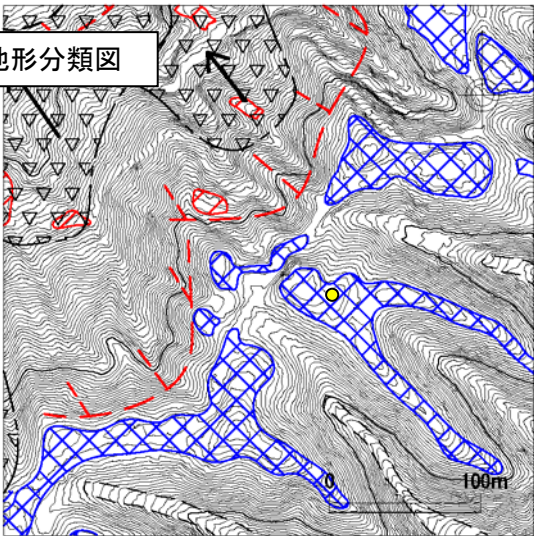
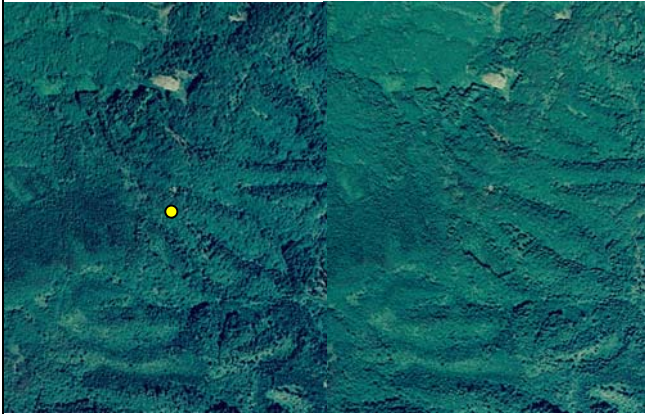
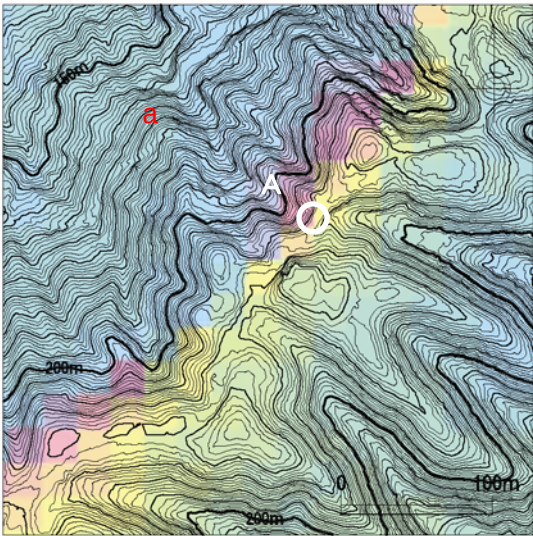
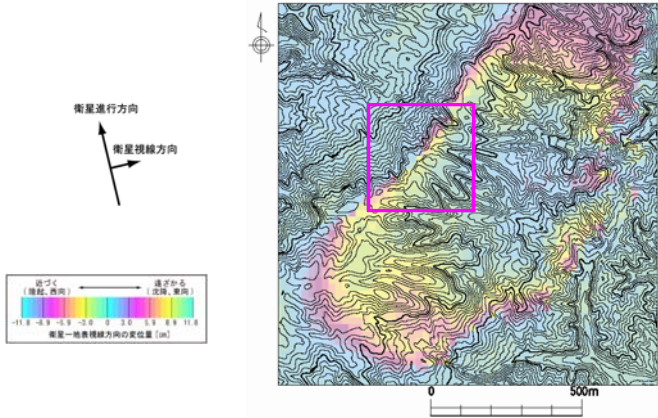
作成日：2009 年 1 月 16 日（改訂日：2009 年 8 月 17 日）

総図名	七尾	1/2.5 万図名	(下唐川・中島)
対象地点の中心	北緯 37° 09′ 20.08″	東経 136° 47′ 30.69″	Area C(7)
 地形分類図 背景の等高線は北陸電力株式会社計測の航空レーザ測量データによる。		空中写真  ● 地形分類図と空中写真との同一地点	
SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m			
撮影年月日：2007 年 2 月 23 日～2007 年 4 月 10 日			
解像度：(FBS) / FBD (2007 年 2 月 23 日) / (FBS) / FBD (2007 年 4 月 10 日)			
衛星の視線方向：(西側上空から東向き) / 東側上空から西向き			
		 背景の等高線は北陸電力株式会社計測の航空レーザ測量データによる。 Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI	
備考：			
小起伏面～滑落崖上部			
①干渉縞：明瞭			
②視線方向の色変化：(馬蹄形変動の外部の無変化の青色部分 a を基準に東から西へ向かって) 青→赤→黄色			
③移動方向：東へ遠ざかるないしは沈降			
南西向きの地すべり地形と干渉縞(青と赤色の境界)がほぼ一致する。この地すべりの移動方向は南西向きと考えられ、SAR 干渉画像から推定される東側へ遠ざかる変動とは一致しない。現地調査では、上図の左、SAR 干渉画像中の A 地点でアスファルト舗装面に圧縮的な変状を確認しており、馬蹄形変動の内部が斜面の傾斜方向(南東向き)に移動し、末端で圧縮的な変状が発生した可能性がある。			

作成日：2009 年 1 月 16 日（改訂日：2009 年 8 月 17 日）

総図名	七尾	1/2.5 万国名	(下唐川・中島)
対象地点の中心	北緯 37° 09′ 36.02″	東経 136° 47′ 22.17″	Area C(8)
 地形分類図 背景の等高線は北陸電力株式会社の航空レーザ測量データによる。		空中写真	
		 ● 地形分類図と空中写真との同一地点	
SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m			
撮影年月日：2007 年 2 月 23 日～2007 年 4 月 10 日			
解像度：(FBS) / FBD (2007 年 2 月 23 日) / (FBS) / FBD (2007 年 4 月 10 日)			
衛星の視線方向：(西側上空から東向き) / 東側上空から西向き			
		 背景の等高線は北陸電力株式会社の航空レーザ測量データによる。 Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI	
備考：			
小起伏面～滑落崖上部			
①干渉縞：明瞭			
②視線方向の色変化：（馬蹄形変動の外部の無変化の青色部分 a を基準に西から東へ向かって） 青→赤→黄色			
③移動方向：東へ遠ざかるないしは沈降			
干渉縞の青と赤色の境界は北西向きの地すべり頭部の開口地形に一致し、色調の変化が激しい範囲は概ね小起伏面の分布地域に調和する。つまり、既存の地すべり地形とは全く関係の無い場所での変動が示されている。			

作成日：2009 年 1 月 16 日（改訂日：2009 年 8 月 17 日）

総図名	七尾	1/2.5 万図名	(下唐川・中島)
対象地点の中心	北緯 37° 09′ 41.64″	東経 136° 47′ 30.45″	Area C(9)
地形分類図  背景の等高線は北陸電力株式会社の航空レーザ測量データによる。		空中写真  ● 地形分類図と空中写真との同一地点	
SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m			
撮影年月日：2007 年 2 月 23 日～2007 年 4 月 10 日			
解像度：FBS/FBD (2007 年 2 月 23 日) / FBS/FBD (2007 年 4 月 10 日)			
衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き			
		 背景の等高線は北陸電力株式会社の航空レーザ測量データによる。 Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI	
備考： 小起伏面～滑落崖上部 ①干渉縞：明瞭（断続的） ②視線方向の色変化：（馬蹄形変動の外部の無変化の青色部分 a を基準に西から東へ向かって） 青→赤→黄色 ③移動方向：東へ遠ざかるないしは沈降 干渉縞は滑落崖上部から小起伏面との境界付近に位置し、色調の変化が著しい区間は幅が狭い。滑落崖は開析されているが、南東斜面を穿つ沢はこの開析された北西向きの滑落崖で明瞭に切られている。この截頭谷を横断する A 地点で盛土が施工されているが、現地調査では盛土に変状は認められなかった。			